



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社かわでん

上場取引所 東

コード番号 6648 URL <https://www.kawaden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相澤 利雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 神保 能郎

TEL 03-6433-0135

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,487	12.3	265	46.1	255	44.3	136	52.9
2022年3月期第2四半期	8,448	7.4	493	24.6	459	28.8	290	29.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	42.60	
2022年3月期第2四半期	90.53	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	20,848	15,281	73.3	4,770.56
2022年3月期	20,562	15,280	74.3	4,770.35

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 15,281百万円 2022年3月期 15,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		40.00		40.00	80.00
2023年3月期		40.00			
2023年3月期(予想)				40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	1.1	600	34.0	580	41.8	380	41.3	118.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	4,192,000 株	2022年3月期	4,192,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	988,786 株	2022年3月期	988,786 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	3,203,214 株	2022年3月期2Q	3,203,214 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染者数急拡大は見られたものの、行動制限の緩和が進むなかで感染症対策と経済活動の両立により、企業収益は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や世界的な原材料価格高騰など不確実性が高い状況が続いております。

当業界におきましては、民間設備投資は回復基調で推移したものの、原材料価格の高騰や部品供給制約が長期化し厳しい環境が続いております。

このような状況下で、当社は全力を傾注し営業活動に取り組んでまいりました。その結果、売上高は9,487百万円(前年同期比12.3%増)となりました。利益につきましては原材料等価格の高騰や部品供給制約が長期化している影響などから営業利益は265百万円(前年同期比46.1%減)、経常利益は255百万円(前年同期比44.3%減)、四半期純利益は136百万円(前年同期比52.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

受取手形及び売掛金が760百万円減少したものの、現金及び預金が1,298百万円増加いたしました。これらの結果、流動資産合計は前事業年度末比396百万円(2.8%)増加し、14,744百万円となりました。

(固定資産)

投資その他の資産が31百万円増加したものの、有形固定資産が133百万円減少いたしました。これらの結果、固定資産合計は前事業年度末比109百万円(1.8%)減少し、6,104百万円となりました。

(流動負債)

買掛金が43百万円増加、未払法人税等が128百万円増加、賞与引当金が59百万円増加などにより、これらの結果、流動負債合計は前事業年度末比224百万円(5.5%)増加し、4,316百万円となりました。

(固定負債)

長期借入金が25百万円増加、退職給付引当金が22百万円増加などにより、固定負債合計は前事業年度末比60百万円(5.1%)増加し、1,250百万円となりました。

(純資産)

前事業年度の期末配当128百万円があったものの、四半期純利益136百万円の計上により利益剰余金が8百万円増加いたしました。しかしながら評価・換算差額等が7百万円減少となりこれらの結果、純資産合計は前事業年度末比微増の15,281百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、当社の業績予想は現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,681	7,979
受取手形及び売掛金	4,823	4,062
製品	1,198	1,362
仕掛品	473	555
原材料	552	641
その他	637	154
貸倒引当金	△17	△12
流動資産合計	14,348	14,744
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,659	2,623
その他(純額)	2,275	2,178
有形固定資産合計	4,935	4,801
無形固定資産	235	228
投資その他の資産		
繰延税金資産	459	492
その他	584	581
投資その他の資産合計	1,043	1,074
固定資産合計	6,214	6,104
資産合計	20,562	20,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,107	2,151
短期借入金	558	441
1年内返済予定の長期借入金	258	283
未払法人税等	41	169
賞与引当金	504	564
その他	622	707
流動負債合計	4,092	4,316
固定負債		
長期借入金	254	279
退職給付引当金	823	845
役員退職慰労引当金	89	104
資産除去債務	17	17
その他	4	3
固定負債合計	1,189	1,250
負債合計	5,281	5,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,124	2,124
資本剰余金	1,476	1,476
利益剰余金	13,418	13,426
自己株式	△1,862	△1,862
株主資本合計	15,157	15,165
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122	115
評価・換算差額等合計	122	115
純資産合計	15,280	15,281
負債純資産合計	20,562	20,848

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,448	9,487
売上原価	6,040	7,090
売上総利益	2,407	2,397
販売費及び一般管理費	1,914	2,131
営業利益	493	265
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	6
受取賃貸料	2	2
受取保険金	4	0
保険配当金	2	2
その他	5	4
営業外収益合計	20	16
営業外費用		
支払利息	2	2
売上債権売却損	18	21
保険解約損	30	—
その他	2	2
営業外費用合計	54	26
経常利益	459	255
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	15
特別損失合計	0	15
税引前四半期純利益	459	239
法人税、住民税及び事業税	99	134
法人税等調整額	69	△31
法人税等合計	169	103
四半期純利益	290	136

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	459	239
減価償却費	203	300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△27	22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	59
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△129	14
受取利息及び受取配当金	△5	△6
保険配当金	△2	△2
受取保険金	△4	△0
保険解約損益 (△は益)	30	—
支払利息	2	2
固定資産除売却損益 (△は益)	0	15
売上債権の増減額 (△は増加)	459	773
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△247	△335
仕入債務の増減額 (△は減少)	50	43
未払又は未収消費税等の増減額	△404	416
その他の資産の増減額 (△は増加)	△7	131
その他の負債の増減額 (△は減少)	42	△108
その他	0	△0
小計	416	1,562
利息及び配当金の受取額	7	9
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△452	74
保険金の受取額	4	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26	1,643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△850	△93
無形固定資産の取得による支出	△0	△30
保険積立金の解約による収入	121	—
その他	△17	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△747	△149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△16	△116
長期借入れによる収入	100	200
長期借入金の返済による支出	△149	△149
配当金の支払額	△127	△128
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195	△196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△969	1,298
現金及び現金同等物の期首残高	9,133	6,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,163	7,979

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。